

<品質管理のケーススタディ (2/2) >

不 具 合 発 生	<p>Y社にて組み立て作業が行われ自社製品も使用されたが、組み立て時に力を加えると簡単に折れてしまうというトラブルが発生。Y社より至急再成形せよとの連絡が入る。</p>	
不 具 合 対 策	<p>再成形中Y社の技術担当者が来社。使用する成形機と成形条件が違うという指摘を受ける。 指定の成形機に金型を載せ替え再度成形。その場で強度試験を行い何とかOK。</p>	<p>指示通りの条件で成形したことをアピール。Y社も納得し、Y社立ち会いのもと条件変更のうえ試し成形。 それでも問題が解決しないためY社が形状に問題有りと判断。金型の形状を若干変更し強度アップを図る。再度成形を行ったところ問題解消。</p>
再 成 形	<p>その日は夜間成形で翌日まで成形することとなったが、作業員の1人がつきっきりで試験をする羽目になり、急遽従業員のリローテーションを変更。</p>	<p>納期に余裕がないということで夜間成形を行うことになる。かなり遅い時間までY社の技術担当者が成形品の試験を行い、太鼓判を押して帰る。</p>